



ボランティア紹介リレー

第19回

今回は、『ちどり会』からの紹介で、『VGLの会』をご紹介します。

「VGLの会」とは？

「一宮ボランティアグループリーダー（Volunteer Group Leader）の会」です。平成15年3月にボランティア団体をサポートする団体として設立され、一宮市市民活動センターの運営協力等を行っていました。平成20年にNPO法人となり、福祉移送サービスを開始しました。

主な活動は？

三つの柱で活動を推進しています。

- ①市民活動支援（協働事業の育成と推進）
地域の課題解決のため、様々な団体や企業と連携・協力を進めています。「協働」をテーマに「市民と企業の協働フェスタ」を毎年6月に開催しています。
- ②福祉移送サービス（有償）
市内に居住する要介護者や障害者など移動が困難な方々を対象に、通院や外出をサポートしています。
- ③生活支援ネットワーク（有償）
高齢者や障害者を対象に、在宅で安心して生活ができるよう、外出時の付き添いや家事などをサポートしています。



事務所の様子



「市民と企業の協働フェスタ」の様子

活動のやりがいとは？

それぞれにやりがいがありますが、福祉移送サービスは毎月約250回、年間にすると3,000回程の利用があります。やってみて気づく大変さがありますが、利用者の方から、「助かります」「安心して乗ることができました」等の声をかけて頂いたときはやりがいを感じます。



福祉移送サービスで使用しています！

市民の皆様へひとこと

福祉移送（運転手）、生活支援（サポーター）等のボランティアを募集しています！運転が好きな方、やる気がある方、興味のある方は是非、社会福祉協議会へご連絡ください。（TEL 85-7024）

取材を終えて

「VGLの会」ではより良いまちをつくるために活動をしており、取材のなかで「目標を共有し、協力して汗をかき“協働”が地域社会を再生する」という言葉が印象的でした。地域社会の課題・ニーズが多様化するなか、誰もが安心して生活できる地域づくりを行う上で「協働」することが大切であると感じました。

おすすめ福祉の本



図書館で借りることができます。

ぼくはスーパーヒーロー

メラニー・ウォルシュ/作 品川 裕香/訳 岩崎書店

主人公のアイザックは『アスペルガー症候群』という発達障害をもつ男の子。記憶力が良く、言葉も達者です。ですが、友だちにあいさつするのを忘れてしまったり、人に変なことを言ってしまうたり、ちょっぴり変わったところがあります。そんなアイザックに、まわりの人たちはどう接したのでしょうか。

アスペルガー症候群という発達障害がある子の特徴的な様子、そして、その子に対して周りの人々はどのように接したら良いのかがよく分かる作品です。